



きりんぐみだより

きりん組5歳児 No.7

令和2年10月28日
田島わくわく保育園
担任 小林・五十嵐

色づく木の葉に、地面に重なる落ち葉や木の実。季節はもうすっかり秋ですね。

10日は、子ども達にとって園生活最後の運動会でした。コロナ禍の為、例年通りの運動会とはいきませんでした。昨年度から抱いていた憧れの鼓隊や組体操などができ、ウキウキ・わくわくしていましたね。今回は、運動会練習を通して、友達と一緒に思いや考えを出し合ったり、力を合わせたいしながら活動を進め、自分の力を発揮しながら満足感や達成感を味わうことをねらいとして活動してきました。運動会の一つ一つの競技に向け、赤組・白組に分かれて1レーの走順や作戦を立てたり、組体操で技を決めるには誰が支えて上に乗ると良いのかなど、みんながそれぞれの立ち位置を経験し考えたいしながら練習していきました。また、鼓隊や組体操では、始め気持ちが合わず太鼓を叩くタイミングが合わなかったり、組体操の技が決まらなかったりすることもありましたが、その都度、子ども達とどうするとみんなの気持ちが一つになり良い発表ができるかを考えながら進めてきたことで、当日は、今までで一番良い発表となり私たちも感動しました。力を出し切って満足感や達成感・悔しさを味わった子ども達は、また一つ大きくなったように感じます。



お店屋さんごっこ

11月6日に、例年の作品展に代わる造形活動として、お店屋さんごっこをします。きりん組のテーマは「ディズニー」です。販売する商品としてカチューシャ・チュロス・アイスを担当して作りました。個人製作では、版画とランタン作りに挑戦します。今年の版画は、昨年度のスチレン版画とは違い、画用紙を切り貼りして「自分」を作りました。顔のパーツ作りでは、細かいパーツが多く、切ることが大変でみんなが集中…。やっと顔ができた～と思えば作り始めると、今度は顔と体の大きさが合わずに苦戦。「あーもう」や「難しい、できない」と言いながらも試行錯誤を繰り返し完成させています。子ども達の集中して取り組む姿や悩みながらも最後まで自分で作り続け、完成させる姿に成長を感じ嬉しく思います。



就学時検診を終えた子ども達は、小学生になる喜びや期待を膨らませています。「できるかな？カード」を始めてから3ヶ月が経とうとしています。最近、

項目全てに丸がつくようになり、友達同士で声を掛け合う姿も見られるようになってきました。さらなるステップアップを目指し、来月から項目を少し変えて進めていきます。前回と同様、1～5は家庭で丸をつけていただきたいと思えます。「2、リュックの中身を自分で入れる」は、巾着に入れてあるお弁当やコップ等を自分でリュックの中に入れるということです。朝の、お忙しい時間だと思えますがよろしくお願ひ致します。「5」は、家庭で小学生になるにあたり、できるようになってほしいことを記入していただきたいと思えます。懇談会で、ゲームの時間が多くなっているからどうにかできないかな～という声も聞こえてきましたので、ゲーム時間を○分と決めて項目に入れていただいても構いません。新しいできるかな？カードは、30日に持ち帰りますのでお子さんと一緒に考えていただきたいと思えます。